

2 アフリカ農業研究者能力構築事業（新規）

1. 趣旨

平成12年9月に開催された国連ミレニアム・サミットにおいて、平成27年という達成期限と数値目標を定めたミレニアム開発目標がまとめられ、その目標の一つとして極度の貧困と飢餓の半減が掲げられた。また、平成16年6月の米国シーアイランド・サミットにおいて、「アフリカの食料安全保障が不安定な国々の農業科学技術を発展させる」として、国際農業研究協議グループ（CGIAR）等国際研究機関のアフリカにおける取組の強化などが盛り込まれた行動計画が採択された。本年4月22日のアジア・アフリカ首脳会議の小泉首相のスピーチでも、「アフリカにおける人材育成への支援」と言及されている。

このような中、我が国もアフリカに関連する国際農業研究機関との共同研究により、アフリカに適した稲の開発、牛の風土病ワクチンの開発、地力維持のための間作用豆類の品種改良など農業生産の基盤となる技術開発を行ってきた。これらを現地に普及するためには、各地域に適応した稲品種の選抜や土壌管理等が必要であるが、現地研究者の不足と脆弱な技術力のため、成果の普及が進まないことが問題となっている。

そこで、アフリカに関連する農業研究において我が国の研究者と共同開発された研究・技術を現地の研究者に伝達すること等を通じて、我が国の農業研究者と国際研究機関が協力してアフリカの研究者の能力構築を一体的に実施する。

2. 内容

アフリカに関連した国際農業研究機関で共同研究を行っている我が国の農業研究者の元にアフリカの研究者を招へいし、能力を引き上げるためのオン・ザ・ジョブ・トレーニングを実施する。

3. 実施主体 独立行政法人 等

4. 実施期間 平成18年度～平成22年度

5. 平成18年度概算決定額 30（ 0）百万円

（担当課：農林水産技術会議事務局国際研究課）

アフリカ農業研究者能力構築事業

我が国の政策課題

- 国民生活の安定向上及び国民経済の健全な発展のためには世界の食料需給の将来にわたる安定が必要。

増大する国際的ニーズ

- 国連ミレニアム開発目標(平成12年9月)
 - ・平成27年までに1日1ドル未満で生活する人口比率を半減
 - ・平成27年までに飢餓に苦しむ人の割合を半減
- 米国シーアイランド・サミット行動計画(平成16年6月)
 - ・アフリカの食料安全保障が不安定な国々が農業科学技術を発展させることを支援

事業のねらい

- アフリカに関連する国際農業研究機関において日本人研究者が既に取り組んでいる技術開発(稲、豆等の品種改良等)を多くの地域に普及させていくことが重要。
- これにより、飢餓、貧困削減等の国連ミレニアム開発目標の達成と我が国の国際貢献に資する。

アフリカのCGIARで活躍する日本人研究者の研究テーマ(例)

- アフリカにおける低地適合性アフリカ用稲の開発(ベナン)
- アフリカ牛の風土病ワクチンの開発(ケニア)
- 地力維持のための間作用豆類の改良(ナイジェリア)
- アフリカ起源の食用作物に関する遺伝的多様性の調査(ケニア)

- 国際農業研究機関で開発された技術を現地に適応させることが必要。しかし、現地の研究者が不足しているため、成果の普及に問題。

アフリカ農業研究者能力構築事業(新規)

- アフリカに関連した国際農業研究機関で共同研究を行っている我が国の農業研究者の元に途上国研究者を招へいし、能力を引き上げるためのオンザジョブ・トレーニングを実施する。
実施主体：独立行政法人 等
実施期間：平成18年度～平成22年度
平成18年度概算決定額：30,117千円

- ・我が国研究者の行っている研究の成果の普及
- ・国連ミレニアム開発目標(貧困と飢餓の半減等)への我が国の国際貢献



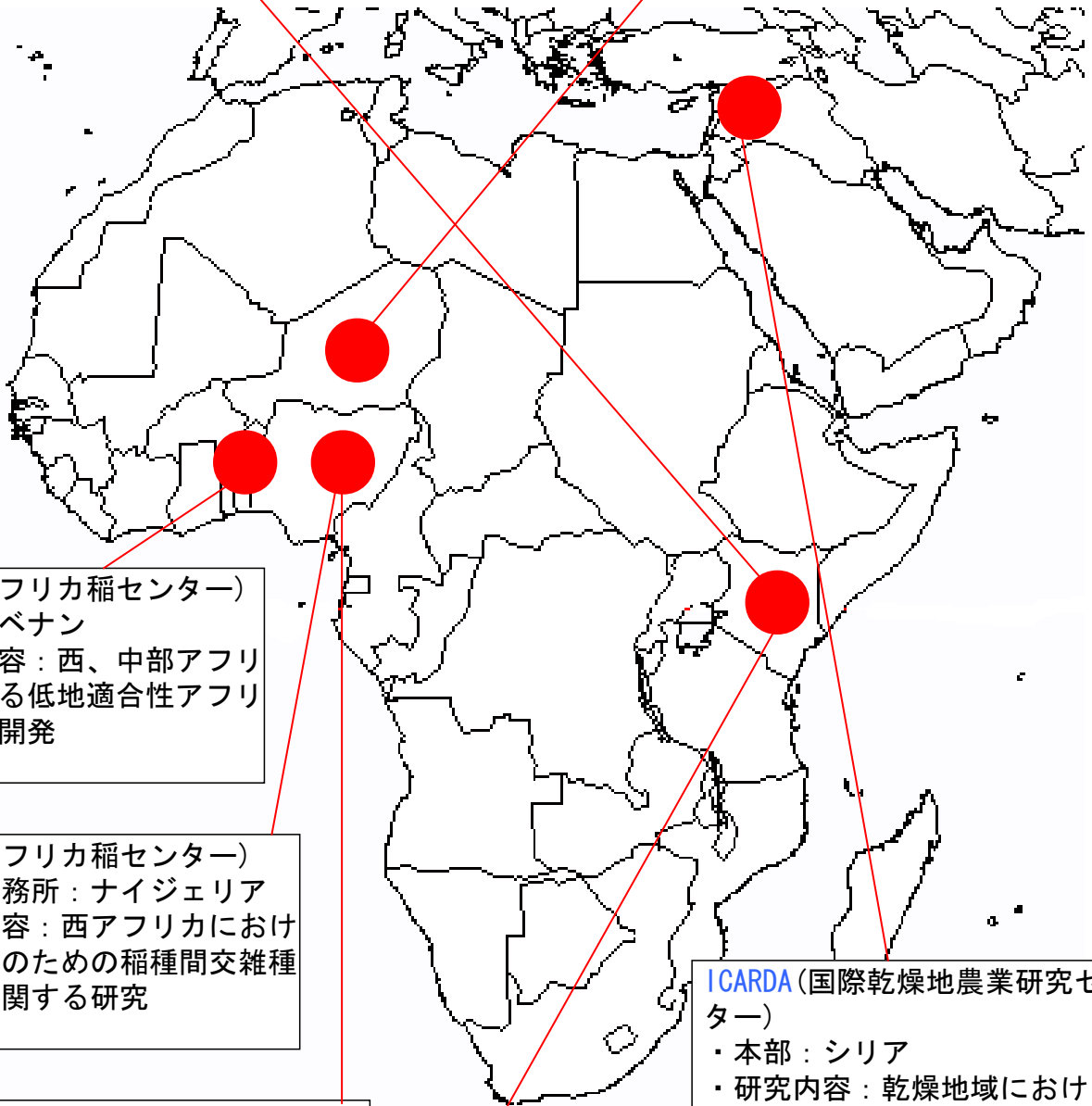
関係する主なCGIARの研究機関

IPGRI (国際植物遺伝資源研究所)

- ・ 地域事務所：ケニア
- ・ 研究内容：アフリカ起源の食用作物に関する民族植物学的研究、民族の生活と食文化の安定化のための在来作物の遺伝的多様性の活用

ICRISAT (国際半乾燥熱帯作物研究所)

- ・ 地域事務所：ニジェール
- ・ 研究内容：半乾燥熱帯アフリカの砂質土壌における土壌肥沃度管理手法の開発



WARDA (アフリカ稲センター)

- ・ 本部：ベナン
- ・ 研究内容：西、中部アフリカにおける低地適合性アフリカ用稲の開発

WARDA (アフリカ稲センター)

- ・ 地域事務所：ナイジェリア
- ・ 研究内容：西アフリカにおける米増産のための稲種間交雑種の活用に関する研究

IITA (国際熱帯農業研究所)

- ・ 本部：ナイジェリア
- ・ 研究内容：穀類－豆類間作体系のもつ生理学的な利点の解明と高生産かつ持続的な農業生産に向けた改良品種の育成

ICARDA (国際乾燥地農業研究センター)

- ・ 本部：シリア
- ・ 研究内容：乾燥地域における小麦の高度環境ストレス耐性に関する技術開発

ILRI (国際畜産研究所)

- ・ 本部：ケニア
- ・ 研究内容：東海岸熱、牛の住血原虫病のワクチン開発